



協 自 自  
調 律 主

次代を担う若人

# 筑 西

久留米市立筑邦西中学校  
学校だより 4-14号  
令和4年10月3日  
文責 校長 古賀 一英

## 文化発表会について

先日、本年度の文化発表会（10月21日）について文書で案内をさせていただきました。この2年間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大から、様々な教育活動が制限を受けてきました。その中でも、音楽の授業における歌唱や楽器の演奏は、特に影響を受けた学習活動の1つです。

本年度の文化発表会は3年ぶりとなり、現在の在校生にとっては初めての経験となる行事であり、伝統の継承と新しい取組を合わせた、コロナ禍後の第一歩を踏み出す行事となります。

そこで、感染症対策として、生徒の座席スペースを確保することから、保護者の方には各家庭1名まで、お子様の学年のみの参観となります。何卒ご理解のほどよろしくをお願いします。

1 実施日・会場	10月21（金）	筑邦西中学校 体育館
2 内容・時間		
① 開会行事	11:25～	
② 合唱コンクール		
1年生の部	11:45～12:10	*1年生の保護者のみ参観可
<給食・昼休み>※給食有り		
2年生の部	14:00～14:25	*2年生の保護者のみ参観可
3年生の部	14:30～15:00	*3年生の保護者のみ参観可
③ 英語スピーチ・弁論発表	15:00～15:15	*3年生の保護者のみ参観可
④ 吹奏楽部発表	15:25～15:45	*吹奏楽部及び3年生の保護者のみ参観可
⑤ 閉会行事	15:45～16:00	
※ 保護者の展示部門の見学は、合唱コンクール及び給食の時間帯になります。		
※ 展示部門会場	○家庭科・家庭科部<1F被服室>	○理科自由研究<2F理科室>
	○美術科・美術部<3F美術室>	

保護者の受付場所は、生徒昇降口となっております。感染対策のために、保護者の入場口と退場口を設定していますので、案内文書裏面でご確認をお願いします。

## 卒業生が教育実習を実施しました

本校の卒業生の4名が、教育実習生として頑張りました。前号で紹介したインターンシップは、生徒たちのサポートを行いました。教育実習生は、実際に授業を計画し実施をしました。実習を始めたころは、生徒たちを前に緊張をして自分の考えをうまく伝えることができませんでした。しかし、少しずつ経験を積むにつれ声も大きくなり、表情も豊かになっていきました。実習生たちは、大学で学んでいることを、実際の学校現場で実践することの難しさを痛感したようでした。大学に戻り、一層勉強に励むこと約束し、実習を終えました。裏面に実習生から中学生に向けてのメッセージを掲載していますので、お子様が20歳ぐらいになった姿を想像して読んでみて下さい。

【佐賀大学4年 寺崎文乃<3年：英語担当> 8/25~9/7】

みなさんと過ごした3週間は、1日1日が充実していて、あつという間でした。母校に教育実習生として戻ってくることができ、本当にうれしかったです。ありがとうございました。

みなさんに、「挑戦することの大切さ」伝えたいと思います。始業式の日校長先生のお話の中にも、「夢への挑戦」という言葉がありました。私自身、興味、関心があることがあれば、とにかく挑戦してきました。いい結果を残すことができなかつたり、うまくいかなかつたりしたこともたくさんあります。しかし、挑戦しなかつたら、仲間とひとつになることの大切さや、頑張った時の達成感を味わうことはできなかつたと思いますし、後悔が残り、成長もできなかつたと思います。みなさんも、「やってみたい」「頑張ってみたい」と思ったことには、積極的に挑戦してください。きっと結果よりも、過程が自分を強くしてくれます。そしてなにより、頑張っているときの姿は、他の人が見ても、世界で一番輝いているはずですよ。みなさんが夢に向かって挑戦し、その夢を叶えることができるよう願っています。If you can dream it, you can do it.

【山口大学4年 末安琴<3年：国語担当> 8/25~9/14】

私が中学生の時、クラスや部活動で一緒にいる友達は決まっていた、いつも同じ人と話したり行動したりしていました。しかし、実習生として3週間中学校に身を置き、学校は色んな人がいるからこそ面白くて楽しいと改めて感じました。私たちは人間なので、見た目だけでなく、性格、感じ方や考え方など、一人一人異なります。みなさんには、異なる他者を避けるのではなく、自分から歩み寄ってほしいと思います。クラスや学年を越えて、たくさんの人と話して、関わってみてください。他の人のことを知ると、自分の在り方や人との関わり方についても考えることができます。

ある歌詞に「生きてきたようで生かされている」とあります。私たちは社会に出ても、必ず他の人と関わり合いながら、助け合いながら生きていきます。学校という色んな人がいる場所で、たくさんの人と関わりながらこれからの学校生活も楽しんでください。3週間という短い期間でしたが、ありがとうございました。

【福岡女学院大学4年 石井萌衣<1年：英語担当> 8/29~9/16】

筑邦西中学校で過ごした日々はとても濃いもので、学びの尽きない3週間でした。初めは緊張や不安で一杯でしたが、皆さんの明るさや素直さに何度も励まされました。本当にありがとうございました。

私は中学生の頃、まさか教育実習生として母校に戻ってくるとは思ってもいませんでした。私は、人前で話すことやリーダーシップを執ることも苦手で、自分には向いていないと思っていたからです。しかし、卒業して6年間、成功や挫折といった多くの経験を通し、様々な人と出逢う中で、教職という夢を持ちました。中学生の皆さんは大きな可能性を秘めています。将来、想像もしていないような夢や目標を持つかもしれません。そんな時に自信となるのは、それまで培ってきた経験や努力だと思います。是非、多くのチャレンジをして様々な人と関わってください。それがきっと将来自分の糧となると思います。皆さんのことを心から応援しています。

【環太平洋大学3年 古賀七海<3年：保健体育担当> 8/29~9/16】

3週間、ありがとうございました。教育実習のこの3週間、筑邦西中学校の生徒のみなさんと過ごせて、とても楽しかったし、幸せでした。中学生の皆さんを前に授業をしたり話をしたりするなかで楽しいこともたくさんありましたが、正直、悩むことや苦しいこともたくさんありました。実際に授業をしてみると想像してた通りに進まなかつたり時間が足りなくなつたりと焦りと不安でいっぱいになった日もありました。そんな時、私の心の励み、支えになったのはみなさんの明るい挨拶や、素直に真剣に話を聞いてくれる姿、そして笑顔でした。みなさんのそんな姿が私の頑張る源になりました。

私はこの3週間で学んだこと、感じたことを忘れずに、これからまた勉強を精一杯頑張ります。みなさんも、夢や目標に向かって、勉強や部活動を頑張ってください。またいつか会えた時は元気に声をかけてください！3週間本当にありがとうございました。